

安心していただける医療を

- ✿ 新任医師の紹介・・・・・・・・・・ よろしくお祈りします
- ✿ 放射線室通信・・・・・・・・・・ CT検査について
- 院内各科紹介・・・・・・・・・・ 内科
- 健康メモ・・・・・・・・・・ 血圧について
- 院内部署シリーズ・・・・・・・・・・ 看護部（手術室・中央材料室）
- 院内トピックス・・・・・・・・・・ 新しい内視鏡治療"ESD"について
- 栄養管理課だより・・・・・・・・・・ 魚に含まれる栄養の働き
- 医療連携推進だより・・・・・・・・・・ かかりつけ医から投薬されている患者さまへ
お知らせ・・・・・・・・・・ 外来診察室の一部変更・無料ロッカー設置



「コスモスの丘」 橋上 裕氏（伊勢地区医師会カメラクラブ）撮影

市立伊勢総合病院 の 基 本 理 念

患者様の立場より 愛情と責任を持ち、安全で安心していただける医療
病院機能の立場より 良質かつ高度の医療
地域医療の立場より 円滑かつ密な機能分担、合理的かつ効率的な医療

新任医師の紹介

- | | |
|---------|---------|
| ① 出身地 | ② 出身大学 |
| ③ 前住地 | ④ 特技・趣味 |
| ⑤ 長所・短所 | ⑥ 一言 |



村松温美
(産婦人科)

- ① 静岡県統津市(マクワの町で～す)
- ② 岩手医科大学
- ③ 島田市立総合病院
- ④ 旅行、温泉、映画を見ること
- ⑤ 短所：比較的？短気、早口、元氣長所：人情深い所かな？
- ⑥ 私も熟れすぎた果実という妙諭をおかえしました。女性外来をしていて、共感できる内容が多いのはそのせいでしょうか？今までの分刻みの診療から、ゆとりをもって患者様に向き合える診療ができるようになればと思っています。また、伊勢に早くなじめるように、いろいろな生活情報やアドバイスを皆様から教えていただければと願っています(新鮮な魚はどうすればグットできるかなどなど)。
(。ー。)



西井奈々
(眼科)

- ① 伊勢市
- ② 愛知医科大学
- ③ 鈴鹿中央総合病院
- ④ 旅行、スキー
- ⑤ 気が長く、マイペース
- ⑥ 9月より生まれ育った伊勢で勤務させて頂くことになりました。皆様のお役に立てるよう日々努めたいと思いますのでよろしくお祈りします。



山本章貴
(脳神経外科)

- ① 愛知県田原市
- ② 三重大学
- ③ 三重大学医学部附属病院
- ④ 海外旅行
- ⑥ 10月より赴任しました。脳卒中の予防、そして早期治療に力を入れていこうと思います。よろしくお祈りします。

放射線室通信

CT検査について

CT検査はエックス線(放射線)を使用する検査です。身体の周囲360°方向からエックス線を照射し、得られた情報をコンピュータで処理して体の輪切りの画像を得ます。一般X線撮影では得にくい体内の立体情報を得ることができるため、大変頻りに用いられる検査です。検査に要する時間は撮影部位や撮影枚数などによっても異なりますが、およそ5~15分程度で、苦痛はありません。一般的にはそのまま検査できますが、腹部・骨盤部及び造影検査の患者様には検査前の食事を控えるようお願いしています。

検査の流れは、検査前に撮影範囲内の金属類(ヘアピン・入れ歯・ブラジャー等)をすべて外し、検査台(ベッド)の上に動かないように横になります。検査台は撮影に合わせて自動的にゆっくり移動します。部位によっては、合図に合わせて撮影の間、20秒前後の息止めが必要な場合もありますので検査担当技師の指示に従ってください。



さらにCT検査には、単純CT検査と造影剤(ヨード)を静脈内に注射して行う造影CT検査があります。造影検査は、分かりにくい病気の診断能を上げる為に行われます。(アレルギーのある方は、造影検査ができないことがあります。)またCT検査で用いるエックス線は検査を受ける方への影響はほとんどないと考えられますが、妊娠中やその可能性がある場合には検査が出来ないことがありますので、検査予約時や検査前にその旨を担当者に申し出てください。

現在の内科陣容は医師14人（初期研修医2人、後期研修医1人）ですが、実際の診療においては、循環器科と協働し、そして神経内科とは緊密に連携しています。

内科は病院の顔であり、多種多様な疾病の診療にあたっていますが、主な専門分野は消化器、糖尿病などの代謝・内分泌、呼吸器、血液の病気などです。複数の病気を持つ人の増加に対応して、各スタッフが自身の専門的な知識・技術を駆使しながら他の医師と密なチームワークを構築し、受診される皆様の健康回復とQOL（質的生活）の向上に努めています。

当院は初期臨床研修および内科学会教育施設です。若い医師が内科疾患を中心に日夜診療に励み研鑽しており、日常の診療を通じ社会人・医師として日々成長していく姿が頼もしく映ります。必ず皆様の信頼を得て、期待に答えていきます。

さて、風邪・インフルエンザのシーズンになります。内科外来は流行時には混雑し、診療まで長時間お待ちいただき、毎年皆様に大変ご迷惑をおかけしています。当院は当地域における医療連携を推進しています。是非お住まいの近くに「かかりつけ医」をもち、インフルエンザワクチンの接種や風邪・インフルエンザ罹患時には初期治療を受けられるようお勧めします。より専門的な医療、入院治療が必要な際には安心して当院をご利用ください。

私共は誇りを持ち、皆様に安心・安全で信頼される診療を行います。

（副院長 藤本昌雄）



健康メモ

血圧について

（血圧が高くなると頭が痛くなるって本当？）

血圧のことを気にする患者さんは沢山いますが、きちんと理解されている方は少ないように思います。誤解されていることが多いのです。

血圧とは動脈の中の圧力です。心臓から動脈に送られていった血液の勢いと動脈自体のしなやかさによって規定される数値です。

当然、運動をしたり感情的に興奮すれば心臓等の働きが増し、血圧も高くなります。刻一刻と変化していると言っても過言ではありません。血液検査の数値のような物ではありません。絶えず変化していますから、計る度に異なるのは当然です。平均的どのくらいになっているのかが重要です。

よく救急外来に血圧が急に高くなってきて頭が痛くなったと受診される患者さんがいます。しかし、実際にそのようなことは起こりません。正常人でも運動の最中には血圧が200以上になることもあります。しかし、決して頭が痛くなったりはしませんし、血管が切れたりはしません。多くの場合は頭が痛いと言うストレスのために血圧が上がっているのです。

血圧が持続的に高い状態が高血圧症という病気であって、一時的に高くなった状態ではありません。また高血圧症という病気は慢性的な病気であり、急に重症化することは極めて稀な病気です。ゆっくりと動脈硬化が進行する病気なのです。健診とかで血圧が高いと言われても慌てることはありません。先ずかかりつけの先生を作りその先生と相談されることをお勧めします。

（循環器科 医師 江見吉晴）



院内部署シリーズ

今月の担当部署



今回は **看護部（手術室・中央材料室）** です。



皆様「手術室」と聞くとどのようなイメージを持たれるでしょうか？「怖い」「冷たい」などのイメージを持たれる方も多いではありませんか？私たちスタッフは暖かい雰囲気でお患者様をお迎えし、一人一人の患者様の気持ちに沿った看護ができるよう日々努力しております。

手術を受けられる患者様には、術前にお部屋まで伺い直接お話しを聞かせていただくことで、少しでも緊張を和らげることができるようにも援助しております。

また、安全の面から患者様間違いを防ぐ為の対策として、ネームバンドの着用、およびご本人による氏名の確認などのダブルチェックを行うことで、安全を第一に考えた体制をとっています。

最近では手術中音楽を流すなど、患者様が少しでもリラックスできる環境作りを心掛けています。

(看護師長 木津井ひづる)

院内トピックス

新しい早期胃がんの 内視鏡治療'ESD'について

—より大きながんも切除可能に—

近年、胃がん検診で根治治療可能な胃がんが見つかることが多くなり、胃がんの死亡率が低下してきています。特に比較のおとなしい性質の胃がんは、症状の出る前の早期に発見できると、内視鏡(胃カメラ)で切除できます。

この内視鏡による胃がんの治療は従来、がん組織の根元にワイヤーをかけ、高周波電流により焼き切る方法(内視鏡的粘膜切除術:EMR)が一般的でした。しかし、この方法では根ははってないものの、がんが比較的大きい状態で見つかった場合切り取った病変の評価が難しく、再発の危険性が少なくないため開腹手術を行うのが一般的でした。

近年、内視鏡治療処置具が進歩し、内視鏡的粘膜下層剥離術(Endoscopic Submucosal Dissection: ESD)という新しい内視鏡治療が可能となりました。

- 実際の手順は、
- (1) がん病変を確認、切除範囲をマーキング
 - (2) 粘膜下に局注液を注入しプレカット
 - (3) マーキングした部の外周を全周切開
 - (4) 病変部を盛り上げ、その粘膜下層を剥離して切除し、
 - (5) 最後に切除した粘膜を回収して、病理組織学的に検査します。



この方法は従来の方法に比べて治療時間が長く、出血や胃に穴が開くといった合併症の頻度が高いのも事実ですが、病変を一括して切除出来るため再発が少なく、より確実な内視鏡治療が可能となりました。(本年4月に健康保険の適応となりました。)

(内科医長 長屋草三郎)

医療連携推進だより



かかりつけ医から投薬されている患者さまへ

■外来受診されるときは

かかりつけ医より出している薬に関して、場合により服用を一時中止して頂く必要のある薬等があります。外来受診時は必ずかかりつけ医より頂いている薬あるいは薬剤情報紙をご提示ください。

■入院されるときは

かかりつけ医より頂いている薬は、入院時必ずお持ちください。
入院期間中に服用する薬は、かかりつけ医に入院期間分の処方をお願いして、薬を持参の上ご入院ください。
飲み慣れた薬を服用して頂き、安心して入院生活をして頂きたいと思っております。

栄養管理課だより

魚を食べましょう！

四方を海に囲まれ、魚を食卓にふんだんにとり入れてきた和食の文化が、日本人の健康度を上げる大きなチカラの一つと考えられています。
しかし、わが国においても、急速に魚離れが進んでいるのが現状のようです。
肉と魚と大豆製品のバランスを心がけ、1日に一皿を魚料理で食べましょう。

DHA

脳の働きを促進し、記憶力をよくなります。

魚に含まれる栄養の働き



EPA

コレステロール、中性脂肪を減らし、生活習慣病を予防します。

タウリン

老化抑制。
動脈硬化を予防します。

ビタミンD

カルシウムの吸収を助けます。

お知らせ

外来診察室の一部変更について

10月から、小児科が外来棟1階西側に、形成外科が2階へ移動しました。なお、これにともない、漢方外来も1階西側の小児科で診療しています。

無料ロッカーを設置しました

- 1階ロビーの公共電話の横に、無料でお使いいただけるロッカーを設置しました。どうぞご利用ください。
- 使用可能時間は午前7時30分から午後6時までです。
 - 使用時に100円硬貨が必要ですが、使用後返却されます。
 - 貴重品、生もの等は入れないようお願いします。